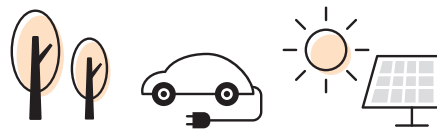


『ゼロカーボンシティ』の実現に向けた市の取り組みについて



令和4年2月の『市政執行方針』において、^{おがさわら はるいち}小笠原春一市長が、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする『ゼロカーボンシティ』への挑戦を表明しました。

実現に向けて、再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの対策など、市民や事業者、行政が一丸となり、環境に配慮した取り組みを進めていくことが重要と考えています。市では、令和5年度より国の『地域脱炭素移行・再エネ推進交付金』を活用しながら、各種補助制度を設け、その実現に向けて取り組んでいきます。

市民の脱炭素化への支援

● ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス普及 促進補助金

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（略称ZEH）の基準を満たす新築戸建住宅の建築主又は新築戸建売住宅の購入者に対して補助金を交付します。

● 既存住宅断熱改修促進補助金

既存住宅の断熱改修（窓の改修）を行う者に対して補助金を交付します。

● 高効率給湯機器等導入促進補助金

既存住宅において、灯油を使用した給湯器などから高効率給湯器などに更新を行う者に対して補助金を交付します。

問い合わせ 環境対策グループ（☎ ☎ 2958）

※補助制度の交付条件や募集時期などの詳細については、決まり次第、市公式ウェブサイトなどでお知らせします。

事業者の脱炭素化への支援

● 太陽光発電設備等導入支援補助金

自家消費型太陽光発電設備などを購入する事業者などに対して補助金を交付します。

【対象者】

太陽光発電設備などを導入する者で、以下のいずれかに該当する者。

- (1) 市内に事業所を有する事業者など
- (2) リースモデルにより(1)に提供するリース事業者
- (3) オンサイトPPAモデルにより(1)に提供するPPA事業者

【補助対象設備】

- (1) 太陽光発電設備
- (2) 蓄電池
- (3) 車載型蓄電池
- (4) 充放電設備

※各設備は、一定の要件があります。

【補助対象経費及び設備・補助率など】

補助対象経費	補助率など	補助上限額
(ア) 太陽光発電設備導入費	5万円/kW ※太陽光パネルとパワーコンディショナーの出力の低い値（小数点以下切り捨て）に乗じて算出。 ※工事費込み。	1,000万円
(イ) 蓄電池導入費	蓄電池の価格の1/3 ※蓄電池の容量により1kWhあたりの上限額あり。 ※工事費込み。	630万円
(ウ) 車載型蓄電池	蓄電容量 × 1/2 × 4万円/kWh	『CEV補助金』の『銘柄ごとの補助金交付額』を上限とする
(エ) 充放電設備	(1) 充放電設備 1/2 (2) 外部給電器 1/3	(1)・(2)とも25万円

問い合わせ 商工労政グループ（☎ ☎ 2171）

※補助制度の交付条件や募集時期などの詳細については、決まり次第、市公式ウェブサイトなどでお知らせします。